

第424号

発行  
浄土真宗  
心光寺  
奥原曇龍  
倉敷市早高426  
☎(086) 420-1311



# 生まれ生きる



カット：本多紘子

新緑したたる好季節、爽やかな風が気持ちよく感じられます。皆様如何お過ごしでしょうか。5月のゴールデンウィークは旅行など楽しい予定が決まっているでしょうか。

お寺の春の永代経法要も4月20日に、総代様や門信徒の皆様のおかげにより、厳粛にも盛大に行うことが出来て感謝でいっぱいです。天気は少し曇り空でしたが、お寺の鉢植えの牡丹の花も一部が満開となつて参詣者の皆様の目を楽しませてくれました。庭の紫陽花も緑の葉が青々として、初夏を感じさせ、心の安らぎを与えてくれたので有り難かったです。また駐車場の周りにはミカンの樹や梅の樹も植えてあつて、5月の終わりには梅の実もたくさんなりそうです。門徒の皆様が植えて下さった樹々ですが、ご先祖様になられた方も多く、樹々を見ると、あの人が思い出され懐かしく感じます。

愚僧の友達である福井県の演仙寺前住職の多田文樹さんより、4月になってお寺の新聞である『燈炬』を送っていただきました。その中に『戦後80年を迎えて』という題の文章を紹介させていただきます。

【今年は第二次世界大戦が終わって80年を迎えます。現代もウクライナ、中東「ガザ」などで戦争が続いています。また、アメリカを始め

自国の利益だけを追求する流れは、共に全人類が平和を願う方向とは逆行している感があり、戦後80年を迎えるに当たって、今一度私たちに何が出来るのかを考える、大事な時期にさしかかっているように思っています。浄土三部経の『仏説無量寿経』には「兵戈無用」という言葉が出てきます。「仏の歩むところ、あらゆる国や村の人々はみな、その教えに導かれない者はいない。人々の心は豊かに安らかであり、兵士や武器を全く必要としない」。この世界が、まさに仏教徒である私たちの目指すべき世界だと述べられています。

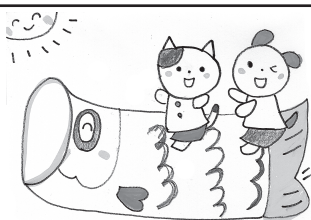
また、『発句経』には、「すべての者は暴力におびえる。すべての生きものにとつて生命は愛しい。己が身に引き比べて殺してはならぬ。殺さしめてはならぬ」とあります。「己が身に引き比べて」というのは、暴力によって殺される側に自分の身を置いてみなさいということ。殺される側の恐怖や苦しみを自分自身の恐怖・苦しみとして受け取ったとき、相手を殺めることが出来るのか、相手の立場、状況に立つ視点が大事だということです。だからこそ殺生してはならないと戒めているのです。……とまだまだ続きますが、多田さんは若い頃から誠実で本当に頭の下がる方で、今でも良き友です。

「なんのために生まれて、何をして生きるのか」これはアンパンマンのテーマソングですが、愚僧の若き頃の深刻な人生のテーマでもあり、この歌は心の中に響き続けました。アンパンマンの漫画を書かれた『やなせ たかし』さんは1919年2月6日に東京都で誕生しましたが、5歳の時に父親が亡くなり、父親の縁故をたどって高知市に移住します。しばらくすると母親が再婚し、たかしさんは弟と友に開業医をしていた父方の叔父に引き取られました。

成長して、たかしさんは東京高等芸学校に進学し、東京で就職しましたが第二次世界大戦が勃発し、生きることも困難な世の中で激動の時代を生き抜きました。誰よりも平和を愛し、食べものを分かち合う漫画を描いたのも、地獄を体験したからですね。合掌(奥原 曇龍)

『なんのために生まれてなんのために生きる 傷つきながら出会いを楽しむ』 どんりゅう

\*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。



カット：府川 綾

## ともしび説法

日時・五月 十四日(水)・午後一時半から四時まで。  
六月 十一日(水)・午後一時から四時頃まで。  
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



# お釈迦様ものがたり 103

お釈迦様もすでに80歳の高齢となり、自分の肉体はあたかも古車がガタガタとなつて、あちこちを革紐で縛りつけてやつと保たれているようなものであると、従者のアーナンダに告げて、最後の仏教布教の旅に出ます。

ワッジ国の首都ヴェーサーリーには、この町の人々が仏教教団のために建ててくれたいくつかの廟所があつて、休息所としてお釈迦様にはきわめて快適であつたらしく、しばしばこの地を訪れていました。この町の廟所を二度と訪れることはないと感じていたお釈迦様は、町の人々に感謝でいっぱいでした。

最後の旅となるヴェーサーリーの町で、随意に住されたお釈迦様は、従者のアーナンダに自身の入滅(死)の時期が来たことを知らせます。四神足という奇跡的な力を持った人は、もしその人が望むならば、一劫というよくな長い間でも寿命を延ばすことができるということをお釈迦様は述べられたが、アーナンダはぼんやりして聞いて逃します。

そのような力のあるお釈迦様に、その寿命を延ばして、世の人々をいつまでも救済指導し続けて下さいということ、アーナンダは頼まなかつたのです。これは悪魔の仕業であつたとせられていきます。

そして悪魔はさらにお釈迦様に向かつて、自分がかつて仏の成道直後に入滅をすすめたとき、お釈迦様は自分の弟子や信者の人たちが十分に仏教を受け入れ、仏教によつて実践し、仏教の存続発展のために彼らが活躍するようになるまでは、自分が入滅しないと答へられたが、今やその目的は十分に達成されたのであるから、約束に従つて、早く入滅して貰いたいと欲求した。お釈迦様は三ヶ月後に入滅を約束します。

この旨を後で知つたアーナンダは、お釈迦様の入滅の近いことを知り、いつまでも生きていて欲しいと頼みます。合掌(奥原曇龍)

五月晴れ牡丹の花に風そよぐ 山門くぐればツツジも満開 田辺多恵子



4月20日 諸僧と総代さんたちの挨拶

## ともしび法話

風薫る5月、お寺の柿の木の若葉が青々として揺れています。皆様お元氣ですか。

心光寺恒例の春の永代経法要も4月20日に盛大にも厳肅に開催され、総代さんや門信徒の皆様感謝しています。お寺の鉢植えの牡丹の花も咲き、嬉しかったです。

心光寺新坊守(ぼうもり) 府川 綾

春の永代経法要前に、心光寺の門徒さんや総代さんたちがお寺の掃除をして、綺麗になり、ご先祖様を偲ぶ行事としておごそかで、本当に良かったです。感謝。感謝。

倉敷市早高 養田れい子

『ともしび』の御本をお送り戴き、心よりお礼申し上げます。包みをあけた瞬間、亡き坊守博士さんの素敵な笑顔と愛らしいお孫さんが目に飛び込んで来て、しばし見詰め合つたままでした。曇龍先生がどれだけ想いを込めて、この本をおつくりになつたことかと……。神戸市 三木 次代

「親よりも先に還りし御浄土へ」

息子偲びて春の寺法要

倉敷市中庄 山下須摩子

## ともしび説法

日時・五月 十四日(水)・午後一時半から四時まで。  
六月 十一日(水)・午後一時から四時頃まで。

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて  
電話・(086)420-1311 駐車場有り

(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

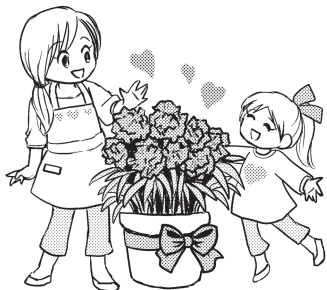
- 七月 九日(水)・午前十時から十二時まで・早高の本堂。
- 八月 二十日(水)・午前十時から十二時まで・早高の本堂。
- 九月 十一日(木)・午前十時から十二時まで・早高の本堂。

☆『ともしび』を、平成27〜29年、平成30〜令和2年、令和3年〜令和5年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となつて、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生をふり返れます。まとめた本が欲しい方は実費でお分けします。



## こころの詩

新緑したたる5月  
流れる白い雲  
人間の私も流される  
ぬくもりを求めながら  
ねばりつよく機を待ち続け  
のんびりゆつくり生きすぎた  
今からここから花咲かす



カット:吉岡美枝

◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。

- 倉敷市 貞安様 3千円
- 倉敷市 田中博様 早島町 平松公子様 5千円
- 倉敷市 藤民子様 細見令恵様 野上孝様 森田酒造様 静岡県 津田幸子様 1万円
- 岡山市 藤井玲子様 1万円 倉敷市 佐々木孝子様 切手2万5千円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426

浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺  
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322  
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「424号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。5月14日のともしび説法の日には茶屋町駅西口に12時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は心光寺までご連絡下さい。合掌 総代長 本家豊彦